

フタル酸樹脂系塗料・アルキド樹脂系塗料 使用上のご注意

資料: 401-001

フタル酸樹脂系・アルキド樹脂系常温乾燥型塗料は、その使い易さから、永年にわたり多くの分野で使用されています。

フタル酸樹脂系塗料の乾燥は酸化重合型であり、主として、樹脂中の主成分である乾性油が空気中の酸素を吸収して酸化され、これに伴って重合が起こり、強靱な塗膜が出来ますがこの反応中に熱が発生します。

通常の使用であれば、この熱は空気中に放散したり、被塗物に吸収され、全く温度は上がりません。しかし、塗料カス・塗料の付着した布切れなどをそのままの状態に放置した場合や、吹き付けブースの排気ダクトなどに塗料カスが多量に堆積するような場合には反応熱が蓄積され、その塗料カスが自己の反応熱により自然発火して、火災につながる危険性があります。

従いまして、これらの塗料のご使用にあたっては、以下の参考資料をご参照の上、安全管理に、ご配慮戴きますようお願い申し上げます。

●自然発火現象についてのご注意**1) 塗料カス・塗料の付着した布切れなどの処分**

塗料カス・塗料の付着した布切れ、および、マスキングに使用した紙などの廃却に関しては、必ず水没させて保管した後、ぬれたままで廃棄物処理ください。

2) 塗装吹き付けブースの清掃

塗料カスの堆積しやすいブース内は、特に日常の清掃が必要です。1日の作業で、ブース内に1cm以上のスプレーダストがつもる場合には、毎日清掃を行うこととし、それより少ない場合でも1cm以上にならないように清掃を行なってください。

ブース壁面に付着した塗料カスを除去する場合、ブースの鉄壁が露出するまで十分に清掃する必要があります。塗料カスの表面部のみを除去するような清掃では、内部の酸化反応が進み発熱する可能性があります。

ブースの清掃を容易にするために水洗ブースの壁面にストリップペイントを塗布しておく方法もあります。

3) 不純物の混入は避ける

酸化反応を促進する恐れのある物質(酸類・金属粉類など)は塗料に混入すると、反応による発熱が促進される場合がありますので、混入は避けなければなりません。

4) 塗装ブースの形状

水洗ブースの利用が好ましい。ドライブースは塗料カスが堆積しやすく、掃除を行ない難いダクトフードなどに粉状塗料カスの堆積が生じるのでフタル酸塗料の塗装には推薦できません。